

標準水素電極について



標準水素電極(上はガス導入部、下はルギン毛管)

- ・半セル試験装置など、電気化学セルの電位基準として用いる
- ・すべての温度範囲で電位0の基準となる(電極内部の H^+ 活量が1のときSHE)
- ・電極内部の溶液が試験溶液と同じの場合、RHE電位基準を与える
- ・電位が非常に安定しており、初心者でも使いやすい
- ・テフロン製で、酸性、アルカリ性すべての溶液に対応、破損の心配もない
- ・ルギン毛管はテフロンチューブ製で、任意の長さに調節できる
- ・小型で安価

(株)つくば燃料電池研究所

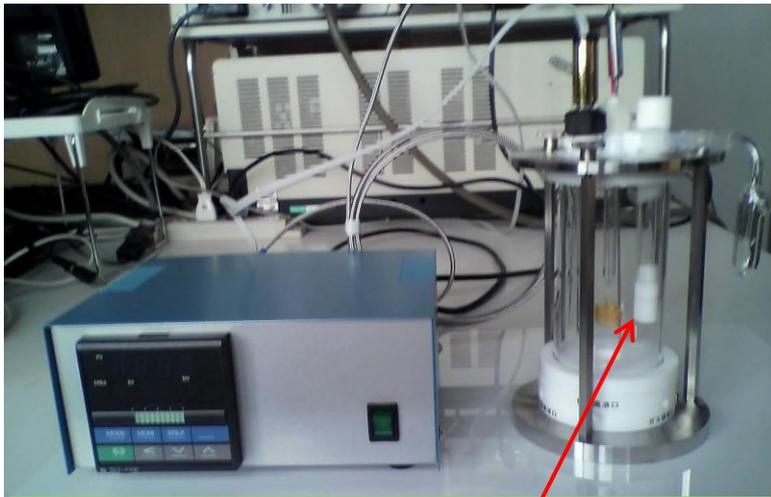
Tel & FAX: 029-896-6381

E-mail: okada.t@angel.ocn.ne.jp

標準水素電極仕様



標準水素電極
ボディの中央
部をポリカーボ
ネートで構成し
た例



半セル試験装置に組み込んだ例

- 使用温度範囲： 室温～70℃前後（電気化学セル内の溶液が沸騰しない範囲）
- 材質： テフロン樹脂
- 電極部： Ptコイル
- 筒部の構成： テフロン樹脂、またはガラス、透明樹脂（アクリル、ポリカーボネート）など指定できます
- 水素ガス導入： 上部コックで切り替え
- 筒部長さ： 5～10cm（指定できます）
- ルギン毛管長さ： 2～5cm（指定できます）